
ナミダアメ

Tartle

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ナミダアメ

【Nコード】

N3360T

【作者名】

T a r t t l e

【あらすじ】

これは、俺の夢の中。荒地のど真ん中には、1輪の可愛い花が咲いていた。

そして目覚めた時、俺は…
夢の内容の報告と見せかけて、実は俺のコンフィッション。

（前書き）

注意！！

この話は、俺の懺悔録です。
かなり悲観的なので、そういうのを求めている人にはオススメしません。

それでもいいという方は、どうぞ読み進めてください。
そして感想をお願いします。

それでは、どうぞ。

こんな夢を見た。

俺は一人、荒地あれちに突っ立っていた。五月雨さみだれの中、傘も差さずに。

荒地のど真ん中に、1輪の花が咲いていた。名前は知らないが、人間だったらあどけなさを感じそうな、可愛い花だった。

花は閉じ、蕾つぼみになっていた。花冠かかんという名の殻からで、雨粒あまつぶをことごとく弾き返していた。花蕊かすいの奥の奥に雨粒を入れないように。雨を拒むかのように。

俺は、どうか開きますようにと願った。花卉かべんが、あわよくば心が開くように、そして、恵みの雨を受け入れてくれますように、と。

なぜだか、1回の夢の中で何日か経った。

その日も、俺は五月雨降り注ぐ荒地に立っていた。そして、荒地のど真ん中を見つめていた。

ただ、その日だけは前の日と勝手が違う。

そこに花は無い。あの可愛い花が、杜撰ずさんに折り取られていた。

結局、あの花は1度も花卉を開かなかった。君は1度も心を開かなかった。

目覚めると、目元が湿っていた。

眠りながら泣いたのって、いつ以来だろう。もしかしたら、初めてなんじゃないだろうか。

後に頭が冴さえてきてから、その夢についてじっくり考えてみた。そして、こう結論付けた。

あの五月雨は、俺の涙。あの可愛い花は、愛する君。

俺は君に嫌われた。

無理やりかそれとも君の意志かは知らないが、君は他の誰かと共に

道を歩む。

それもこれも、俺のせい。俺が力加減ちからかげんを知らなかったせい。

俺は君を傷つけた。当然の報むくいだ。

俺のせいだからこそ、君は悪くないと思える。君と君の愛する人とが幸せな人生を送ってほしいと思える。

もう誰も傷つけたくない。それなのに。

（後書き）

P・S・

この花と重ね合わせていた現クラスメートのN・S・さん、AKB 48の前田敦子に結構似ている可愛い姿も、笑い上戸なところも、子どもっぽいところも、突飛なセンスも、全部引くくるめて君が大好きです。

君の愛する人なのかは知らないけれど、俺にはもう気兼ねせずに「こーじ」とやらの幸せにしてもらってください。

最後に改めて言います。君が大好きです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3360t/>

ナミダアメ

2011年6月25日21時02分発行